



三条北ロータリークラブ週報



No. 16

R I : マーク・ダニエル・マローニー会長「ロータリーは世界をつなぐ」
 第 2560 地区 : 大谷光夫ガバナー「楽しいロータリーでつながろう」
 三条北ロータリークラブ : 外山裕一会長「ロータリークラブでより多くの仲間作りを！」

会長 : 外山裕一 幹事 : 羽賀一真 S A A : 梨本文也

●例会日 : 火曜日 12:30~13:30 ●例会場 : 三条ロイヤルホテル TEL 0256-34-8111

◆本日の行事:

「地区大会報告会」

◆本日の出席 : 59名中24名

◆先々週の出席率 : 59名中50名 84.75%
(前年同期 84.12%)◆10月の出席状況 : 会員数 59名・例会数 3回
平均出席率 81.92%
前年同月 81.74%

◆先週のメイクアップ(敬称略)

11/6 柏崎 RC 米山忠俊

11/9 新潟南 RC 60周年記念式典
高橋研一、羽賀一真

*本日の配布書類等

- ・週報 No.1568
- ・ガバナー月信 11月号(閲覧)

会長挨拶 : 高橋研一 副会長



皆さん、こんにちは。

本日、外山会長代理で挨拶をさせていただきます。

先週9日(土)に行われた新潟南ロータリークラブ創立60周年記念式典の内容をお話したいと思います。会場はホテルオークラ新潟で服部正会長の開会点鐘で13時30分に始まり、姉妹クラブの3460地区台中南屯ロータリークラブの中華民国国歌斉唱、日本国歌斉唱、ロータリーソング奉仕の理想と、「R-O-T-A-R-Y」を歌い、その後握手タイム。中條耕二さんとメイクアップを一緒にした時のことを思い出しました。会長挨拶は『現在会員数104名、2560地区最大のクラブに成長いたしました。これもひとえに新潟南クラブの伝統であります「親睦と友和」の精神があったからではないかと思っております。クラブ内の楽しく、元気で、なごやかな雰囲気は

先達の想いが作り上げた、我がクラブのDNAとして、現在も受け継がれています。我がクラブは、60周年記念にあたり、テーマを「原点回帰～先達の想いを次代に伝えよう～」としています。これからの発展を考えた時、何としてもこのDNAを次代に伝えて参りたいと思っております。』

そして、記念祝賀会は、新潟古町芸妓達の祝舞。アトラクションは弦楽四重奏・BGMで始まりとても素晴らしい内容でした。本日は地区大会報告会がありますので私の挨拶はこれで終わりとなります。

幹事報告 : 羽賀一真 幹事



- ・三条ローターアクトクラブより、「第一例会のご案内」

日時 : 11月14日(木) 19:30~21:00

会場 : 三条・燕地域リサーチコア 4階 (異業種交流室)

- ・五十嵐川を愛する会より、五十嵐川クリーン作戦実施の御礼



本日の進行 : 福岡信行 副SAA



ロータリー財団 BOX

12日現在累計 70,000円

本間建雄美君 財団月間です。ロータリー財団に協力。
高橋 彰雄君 協力いたします。
石川 一昭君 BOXに協力です。
澗岡 茂君 地区大会報告の皆様、御苦勞様です。今年も残すところ50日程となりました。財団を宜しくお願い致します。



米山奨学 BOX

12日現在累計 181,000円

石川 勝行君 米山奨学に協力します。
星野 義男君 〃
米山 忠俊君 〃
早川 瀧雄君 台風19号から今日で1ヶ月になりました。犠牲された方のご冥福を祈ります。
大野 新吉君 地区大会報告会、森先生、福岡さん、渋谷さんご苦勞様です。世界平和、日本をより以上に知っていただく為にも米山奨学会にご協力お願いします。



スマイル BOX

12日現在累計 404,000円

森 宏君 地区大会報告させていただきます。
外山 晴一君 BOXに。
岡田 大介君 協力。
齋藤孝之輔君 先週はライラ研修報告をさせてもらい、ありがとうございました。弊社堀江も貴重な経験をし、感動しておりました。ありがとうございました。
羽賀 一真君 皆さまからのニコニコBOXへのご協力をいただきたく思い、今年度末(来年6月末)の慰労会で、1人当たり目標20,000円達成の方全員にクラブから感謝状をお渡しすることになりましたので、ぜひよろしくをお願いします。
佐藤 義英君 地区大会記念ゴルフ大会、大変残念な結果に終わりました事、ここに謹んでお詫び申し上げます!!
石川 友意君 地区大会報告の皆さん、ご苦勞様です。



社会奉仕事業 特別BOX

12日現在累計 186,000円



本日の行事：「地区大会報告会」

森 宏 社会奉仕委員長



2019年10月27日(日)の地区大会2日目に参加しましたが、午後から私用があり午前のみ出席したため、その主要な内容を報告致します。

大谷光夫ガバナー挨拶で、マーク・ダニエル・マローニー会長のテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」ですが、地区テーマとして「楽しいロータリーでつながろう」を掲げ、基本は親睦と友情であり、基本がなければ楽しいロータリーも世界をつなぐロータリーもないのではないのでしょうか、と述べられています。

来賓挨拶では、花角英世県知事自ら出席され、ロータリーの活動は、地域コミュニティの発展を

通じ、県民の幸福にもつながり、地域経済の発展にもつながる、大変意義深いものと考えている。人口減少問題への対応では、県全体で危機感を共有した上で、社会奉仕活動や青少年への支援活動を通じて地域に貢献されておられる国際ロータリー第2560地区の皆様から、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、とのことでした。村山秀幸上越市長、高橋信雄上越商工会議所会頭も、人口減少問題への対応、地域



経済の発展に、ロータリアンの貢献を期待する挨拶がありました。

渡辺好政国際ロータリー会長代理（児島 RC、倉敷市、眼科医）挨拶では、世界は不確実性の最中にありますが、私たちロータリアンには、世界平和を希求し、どのような時代にあっても、ロータリーの先輩たちの偉業に学び、将来を見据えたロータリー活動の遂行が要請されており、このような時こそ、ロータリーの中核的価値観（Core Values）を高く掲げましょう。先輩から、ロータリアンの

返事には「はい」「喜んで」しかないと教わりました。行動のロータリー（Take action）、持続可能性（Sustainability）、寛容（Tolerance）等、英単語を交えて話され、最後に HOPE（Honor Rotary, Organize Rotary, Participate in Rotary, Enjoy Rotary）でまとめられました。

2018-19 年度ガバナー表彰の、米山記念奨学寄付クラブ表彰で、当クラブは一人当たり寄付額が 40,155 円で栄誉ある 1 位となり、表彰されました。

福岡 信行 会員増強委員長



10月27日(日)上越市 デュオ・セレッソで開催されました2019-20年度地区大会は今年度「ガバナーを分区の所属クラブで支える」ということで、第7分区8クラブがホストクラブで開催という新しい試みで行われました。

本会議午後の部の記念講演会について報告いたします。

演題に「新潟から日本を変える！これからの企業のあり方」講師にフリーキャスターで糸魚川出身の伊藤聡子さんから講演いただきました。伊藤さんはテレビ出演をはじめ、事業創造大学院大学客員教授もされて「日本の元気を取り戻す鍵は地域経済の活性化」を持論とされ、中小企業の取材をメインに地域に根ざした独自のビジネス事例や活躍する人びとを数多く取材され、地域の元気・企業の元気をメディアや講演で発信されています。

講演ではまず最初に「令和は新潟が大きな役割を果たす」というタイトルから話がスタートしました。今年、年号が令和に変わった新しい時代に新潟の強み、教訓を活かすということが求められる時代になるということをお話されました。新潟の強みということで、まず「豊かな環境と四季の特徴がある」「農業・漁業の一大産地である」「優れた技術がある」「首都圏との交通網が整備されている」「災害経験を生かした対策がある」「雪の資源化」「根性よしである」

いろいろな課題の中から新潟から解決できる可能性があるものとして、農業・漁業、エネルギー、

環境・健康、災害対策、首都機能の分散、高齢化社会におけるサービス、人手不足解消、多様な労働力の活用をあげ、これらから新潟ならではのキーワードを生み出し、これらをチャンスにしていきたい。

そしてこれらは IoT、AI の技術を活用することです。

事例として、グーグルマップや衛星を活し農地管理をするソフト（アプリ）を作り、最先端技術で海外にも注目され、従事する若者を増加させた会社。又、麺として使える米粉を開発し、各店舗のオーダーメイドで米粉の麺を作る会社であったり、雪を活用してサーバーの冷却を行うデータセンター、IT系ベンチャー企業のサテライトオフィスなどの事例を紹介しながら、地方の中小企業ならではのスピーディーに出来る強みを活かしていく事と社員の直観、感性を大切にし、意識を前向きに変えることが重要であるとありました。また女性の進出が企業を元気にする。女性を積極的に活用している企業ほど業績が良いそうです。それは多様な主体が意思決定の加わることで、優れた商品・サービスを開発できるし、様々な働き手の状況を考慮したマネジメント、働き方改革でき、そして女性が働きやすい職場は優秀な男性も留まることが多いそうです。

最後に令和は様々な課題が複合的に起きてくる。課題の数だけ新潟には可能性がある。

1. 出口を持つ消費地の企業の知識・経験・アイデアを活かして一次産業を守り育てる。
2. IoT、AI を積極的に活用し、効率化とともに顧客ニーズに対応する。



3. 多様な人材を積極的に活用し、多様な価値に対応したイノベーションを生み出す。
4. 感性、直観、理性を大事に志の高い企業をつくる。
5. 夢に向かってスピード感を持って挑戦し、企業が人も世の中もより良く変えていく！

と提案され、強みと可能性がある新潟の魅力のある企業を増やしてほしいと訴えておられました。

これらのことを踏まえながら、RI 会長代理の話にもありました SDGs を導入していくことがもめられると感じました。

渋谷 義徳 国際奉仕委員長



今年の2560地区大会は10月27日（日）に会場を上越市デュオ・セレッソ・で大谷光夫ガバナーの所属する高田RCをホストクラブに第7分区内直江津RC、新井RC、糸魚川RC、高田東RC、糸魚川中央RC、頸北RC、越後春日山RC7クラブの総力を結集して、地区内979名、地区外7地区8クラブ27名、総登録者数1023名で開催されました。そのせいで3階の大ホールに全員が入りきらず、第7分区の会員さん達は2階の宴会場でモニターを見ての参加となっていました。大会プログラムの内容や記念講演の概要は既に森会員と福岡会員が報告されてますので、私は重複をさけて、今年の地区大会に参加して感じた印象を主に報告いたします。

大会運営全体を通じて感じたのは、時間内にプログラムを漏れなく実施するために多くの工夫が見られました。午前部では主催者挨拶、来賓挨拶に続いて参加クラブ総会の際に、これまでの地区大会では、参加クラブを第1分区から順次第7分区まで全クラブを紹介していましたが、今回の地区大会ではそれぞれのクラブを紹介することを省いて、分区ごとにまとめて紹介され、分区内全会員が一斉に起立して紹介に応じるスタイルだったので、1分区ごとの紹介が20秒程度で済み時間短縮が図れ、祝電披露でも電文を読まずに発信人だけを介绍するなど工夫されてましたが、各種表彰でも時間短縮を重視したせいでしょうか、それぞれを壇上で賞状を渡すことなく、会場のスクリーンに映し出していました。紹介アナウンスもなかったと会員増強で表彰されるクラブの会長が不満を私に話されました。

表彰を誇りにして大会に参加したのだが、大会運

営を批判していた人もいました。それも一理あるのかなと感じました。それらの工夫の結果、午前部は時間通りに運び昼食休憩にはいることができました。

午後の部の記念講演については、福岡会員が詳しく報告をされていますので、私は奨学生、交換学生、インターアクト、ローターアクト、ライラ研修生の体験発表を聞いていて、具体的に上手にまとめてあるのに感心し、それぞれの立場をよく自覚して役割をはたしてきてきたのだと思いました。発表者も毎年レベルが上がってきているように感じました。

大谷ガバナーから

ガバナーエレクトに、村上岩船RC佐藤 真 会員ガバナーノミニーに、新潟中央RC高尾 茂典会員との紹介があり、ガバナーエレクト、ガバナーノミニー両氏の挨拶の後、大谷ガバナーの謝辞をもって午後の部の本会議を終了しました。

親睦交流会ではアトラクションとして、陸上自衛隊 新発田・高田駐屯地音楽クラブの演奏を聞かせてもらいました。来年の地区大会の開催場所が新発田市の月岡温泉白玉の湯「華鳳」に決まっているので、今回両駐屯地音楽クラブの合同演奏を実施したとの説明がありました。懇親会は派手さがなかったのですが、おもてなしの気遣いが感じられました。その一例として料理は弁当でなく、オードブル形式でしたが中に上越市ソウルフードと言われている、幻魚（げんぎょ）やする天（塩するめのてんぷら）があり、珍味を味わうことができました。午後5時40分に会場を出発し、6時20分に三条に戻り解散となりました。

今回の大会を通じて感じたことは全体的に派手になることなく、時間の進め方もスケジュール通りに行われ、実のある大会を無事終了されたと思いつつ帰路につきました。



お疲れ様でした。